

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で甚大な津波被害を出したことから、津波の教訓を伝え津波対策を総合的かつ効果的に推進するため、11月5日を「津波防災の日」と定められました。
 これは、嘉永7年(1854年)11月5日の安政南海地震(M8.4)で和歌山県を津波が襲った際に、稲に火を付けて、暗闇の中で逃げ遅れていた人々を高台に避難させて命を救った「稲むらの火」の逸話にちなんだ日です。

震度ってなに？

震度とは、地震動の強さの程度を表すもので、計測震度計を用いて観測します。ある地点が実際にどう揺れるかは、地震のエネルギー規模だけでなく、震源からの距離、地盤条件などに左右されます。

震度0	揺れは感じない。
震度1	屋内にいる人の一部がわずかな揺れを感じる。
震度2	屋内にいる人の多くが揺れを感じる。つり下がっている電灯などがわずかに揺れる。
震度3	屋内にいる人のほとんどが揺れを感じる。棚の食器が音をたてることもある。
震度4	眠っている人のほとんどが目覚まし、部屋の不安定な置物が倒れる。
震度5弱	家具の移動や食器や本が落ちたり、窓ガラスが割れることがある。
震度5強	タンスなど重い家具や、外では自動販売機が倒れることがある。自動車の運転は困難
震度6弱	立っていることが難しい。壁のタイルや窓ガラスが壊れ、ドアが開かなくなる。
震度6強	立っていられず、はわないと動くことができない。
震度7	自分の意思で行動できない。大きな地割れや地すべり、山崩れが発生する。

マグニチュードってなに？

「マグニチュード」とは、地震そのものの大きさ(規模)を表します。
 マグニチュードは1大きくなると地震のエネルギーは32倍となり、2大きくなると1,000倍になります。
 マグニチュードの値が大きくても、震源地から離れている場合は地震による影響をほとんど受けません。
 昭和21年(1946)に西日本の広い範囲に大きな被害をもたらした「昭和南海地震」はマグニチュード8.0でした。
 政府の地震調査委員会は、マグニチュード8から9の巨大地震が今後30年以内に「70%から80%」の確率で発生すると予測しており、被害は、四国や近畿、東海などの広域におよび、東日本大震災を大きく上回ると想定しています。

お問合せ 防災センター ☎24-9280



取材先の企業情報

- 会社名 松屋電工株式会社 日高工場
- 所在地 日高川町小熊3648-1
- 本社 有田郡広川町前田217-1
- 日高工場設立年 1983年
- 本社設立年 1943年(昭和18年)創業80年目
- 従業員数 50人
- 概要

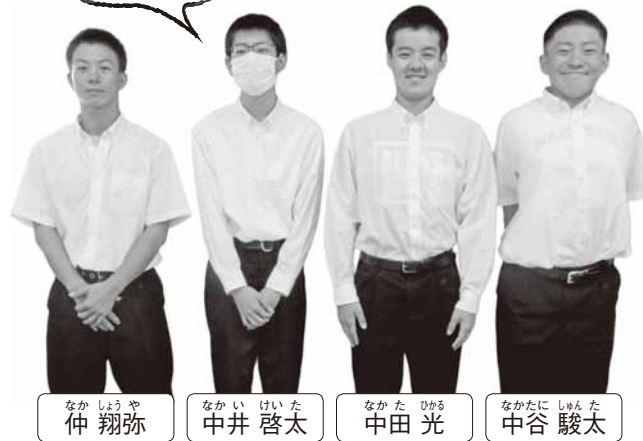
学校やイオン、コンビニなどにある木製品と鉄製品を使った机や椅子など家具商品を製作。国内有数の製造メーカー。本社以外にも工場が存在し県外(静岡県)や国外(インドネシア)にも進出しており、工場ごとに役割が違う。家具や文房具で有名なコクヨ株式会社と協力関係にある。鋼製学校机、椅子のJIS認可・ISO9001取得(※ISO9001とは…顧客満足の工場を目的としたマネジメントシステム)

モットー 柔軟な発想と鋭敏な感性を持って社会に貢献する商品づくり

現在の目標 創業100年を目指して、時代の変化に対応する柔軟な企業作りの継続



私たちが取材しました!是非、ご一読ください!!



なかしょうや 仲 翔弥 なか い けい た 中井 啓太 なか た ひろ 光 中田 光 なか た しん た 中谷 駿太

日高高校中津分校 高校3年生による 地元企業紹介

松屋電工株式会社 日高工場

本ページは、地域学習の一環として、日高高校中津分校の3年生が、町内の企業を取材し、記事にしたものです。



Vol.2

取材手記

「なぜ国内市場のトップメーカーになったか」戦争が終わった頃から製品にスチールを導入することがこれからのブームであると予想して、当時主流の木製からスチールを使った製品作りを導入し見事予想が的中。成功を収めて国内屈指のトップメーカーに。

※スチールとは…鉄が主成分とした合金の総称。別称…鋼

思ったこと

1943年創業当時は戦時中であり、さらに1945年には和歌山大空襲により多大な被害を被ったり、高度経済成長期やバブル経済とその崩壊という不安定な経済状況も乗り越え、現在まで80年の歴史を刻んできた本場に数少ない企業の1つだと思えます。大げさかも知れませんが、たとえ誰もが知っている大企業でなくても、いくつもの危機を時代の変化に対応しながら乗り越え、長い時を存続してきた会社がこの和歌山にあることは和歌山県民としてとても誇りに感じます。

伝えたいこと

大きな会社、だれもが知っている大企業に私たちは注目しがちですが、そんな大企業でも、できないことや手が回せないところを中小企業と協力して進めることで、世の中に良い商品を提供しているのだと思えます。中小企業が大きな企業を支え、雇用や活性化という点で、地域の支えとなっているように思います。松屋電工は世の中から大きな注目を浴びることがないかもしれませんが、これからも大企業の足を支えるかっこいい会社なのです。

日高川町地域おこし協力隊 協力隊通信



足立 貴弘

こんにちは！地域おこし協力隊の足立です。9月も引き続き鐘巻のビニールハウスにて作業をしました。先月末にミニトマトの定植をしたため、今月はそのミニトマトの管理をしました。とはいっても私はまだまだ初心者のため、地元のミニトマト農家さんにミニトマトの生育段階ごとの管理ポイントを都度聞いて、自分のミニトマトでその管理方法を実践するという流れで作業をしました。地元農家のアドバイスを参考に、今月初めは理想に近い生育状態を維持できていたと思います。しかし、私はミニトマトの生育状態ばかりに目がいつてしまい、ミニトマトに病気をもらわず虫がビニールハウス内に繁殖していたのを見落としてしまいました。対処はしたものの時すでに遅し、病気と思われるミニトマトの株が数本見つかりました。単一的な視点では問題が出やすいのは当然ですね。幸いこれ以降は病気の株が見つかっていませんが、病気が蔓延しないよう、きめ細やかな管理をしていこうと思います！



お問合せ 農業振興課 ☎22-2048